



しゅん工に向けた様々な取り組み ＜運転員の技術力維持・向上＞

再処理工場は、2006年から実際の使用済燃料を用いたアクティブ試験を行い、約425トン进行处理した運転経験があり、本格操業に向けた様々な技術を蓄積してきました。2008年のせん断・溶解等の設備の稼働停止以降、本格的な運転を長期間実施していないことから、しゅん工前の試験やその後の安定運転を確実に実施するため、これまでの技術の蓄積に加えて、あらためて運転員の技術力の維持・向上に取り組んでおり、その一つとして外部知見、外部レビューを活用することとしています。

再処理工場の「前処理」「分離」「精製」工程は、フランスの技術を導入しているため、フランスのオラノ社*から、ラ・アーク再処理工場の運転に関する知見を持つ技術者に再処理事業所内に常駐して、当社の運転員を対象に、ラ・アーク再処理工場の運転を題材にした教育を行っていただいております。

※オラノ社：フランスのパリを拠点とする原子燃料サイクル施設を運営する企業

■オラノ技術者による教育訓練の様子(2019年9月12日実施)



■2019年度の教育訓練の実績 2019年9月30日現在

- 実施回数/人数：57回/延べ約350人（今年度は約90回/延べ約540人が受講予定）
- 実施内容：前処理・分離・精製工程の起動/停止操作など

【今後の予定】

フランスのラ・アーク再処理工場へ当社から約50名の運転員を派遣し、運転訓練を実施する予定です。その後、ラ・アーク再処理工場で蓄積したノウハウを、他の運転員に展開することで、運転員全体の技術力の維持・向上に繋がります。

■その他の取り組み

再処理工場では、基礎知識習得のための教育講座に加えて、運転訓練シミュレータを活用した訓練などを継続的に実施しています。

MOX燃料工場についても、オラノ社のメロックスMOX燃料加工工場の知見を持つ技術者による製造設備の設計・操作等に関するレビューを受けています。



オラノ技術者によるMOX製造模擬設備でのレビューの様子(2018年8月29日実施)

【今後の予定】

- JAEA(日本原子力研究開発機構) ガラス溶融炉モックアップ施設での運転に係る操作訓練
- これまで実施したアクティブ試験で蓄積した運転記録を活用した教育
- JAEA・メーカーからのアクティブ試験経験者の招聘、経験者である当社OBの活用
- JANSI(原子力安全推進協会)によるレビュー
- フランスのメロックスMOX燃料加工工場への社員の派遣

しゅん工前の試験やその後の安定運転を確実に実施し、地域の皆さまにご安心いただけるよう社員の技術力の維持・向上のための人材育成をしっかりと進めてまいります。